

(2) [施策展開5] 地産地消と食に対する理解・活動の促進

ア 地産地消の推進による信州農畜産物への共感

【めざす平成 29 年の姿】

- ◇「おいしい信州ふード（風土）」が県内外に認知され、自然豊かな信州で生産される信州農畜産物への関心と理解が深まり、県民が様々な立場から地産地消に取り組んでいます。
- ◇新鮮な農畜産物を求め、農産物直売所を利用する消費者の増加により、地域の農畜産物の生産が拡大しています。
- ◇旅館・ホテル・飲食店等において、信州農畜産物を用いたメニューが拡大しています。
- ◇生産者・流通関係者等との連携・協力により、学校給食等において信州農畜産物の利用が拡大しています。
- ◇環境農業等への理解が進み、信州の環境にやさしい農産物等が地域の消費者に選ばれています。

<施策の取組状況>

○ 自然豊かな環境で生産される安全で良質な信州農畜産物の情報発信

- 「おいしい信州ふード（風土）」をはじめとする、信州農畜産物の更なる地産地消を進めるため、「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン推進委員会*と連携し、食品関連企業等の協賛企業との協力により、様々なイベントを通じて地産地消の普及啓発活動を行いました。
- 「おいしい信州ふード（風土）」大使等の講演・パネルディスカッションによる地産地消シンポジウムを開催して、信州の食の魅力について関心を高めるとともに、「おいしい信州ふード（風土）」ネットを活用し、県内外に対して情報発信を行いました。

*「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン推進委員会
・地産地消の促進を目的として、長野県、JA長野県、信濃毎日新聞社、八十二銀行により H20 に設立

[平成 27 年度の主な取組]

- ・「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン協賛企業：28 社
- ・(再掲)「旬ちゃん」学校訪問による地産地消、食育の推進：延べ6校 284名
- ・(再掲)「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消シンポジウム：
H27. 12. 18 ホテルメトロポリタン長野 参加者 150 名
- ・(再掲)「おいしい信州ふード（風土）」ネットアクセス数：457,686 件 (H28. 3 末現在)

○ 生産者と消費者との顔が見える関係の推進

- 「おいしい信州ふード（風土）」を活用したメニューの提供がさらに促進されるよう、「おいしい信州ふード（風土）」SHOPの登録を進め、お客様に対して自ら情報発信を行う発信拠点づくりを進めました。
- 直売所のPRのため、観光部、(一社)信州・長野県観光協会と連携して「ぐるっと信州 2015～味と体験を満喫～」*を実施しました。

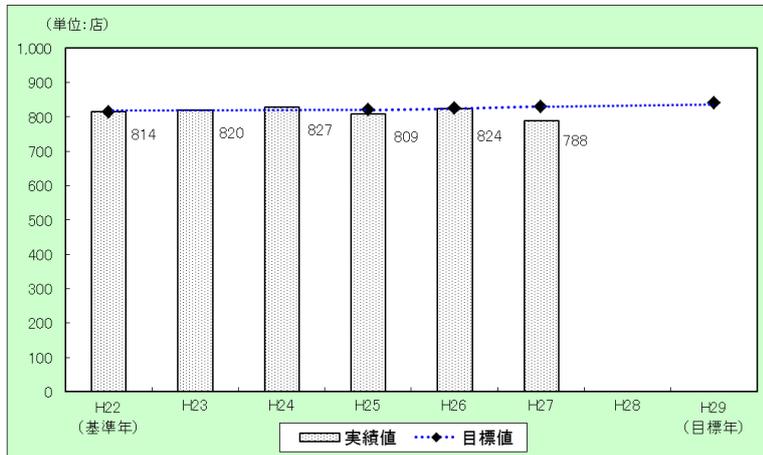
*「ぐるっと信州 2015～味と体験を満喫～」

観光部と連携した特別企画。観光客が県内各地を周遊し、信州の旅や食等を楽しみ、収穫体験や農産物直売所等を行うことにより、スタンプ(3個)を集めて応募すると、抽選で「信州プレミアム牛肉」をはじめとする信州の特産品をプレゼント。

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・(再掲)「おいしい信州ふード(風土)」SHOP 登録数：1,251 (H28.3.31 現在)
- ・「ぐるっと信州 2015～味と体験を満喫～」参加農産物直売所：88 施設

■達成指標項目 26：農産物直売所 (農産物マーケティング室調べ)



平成 27 年度の農産物直売所数は 788 施設。新たな大型直売所の開設により、小規模な既存直売所の統廃合がみられる。

○ 学校給食等における信州農畜産物の利用促進

- 学校における地産地消や食育活動を促進するため「おいしい信州ふード(風土)」を食べよう!育てよう!地産地消キャンペーン推進委員会と連携し、「旬ちゃん」学校訪問を実施し、信州農畜産物の利用と理解を促進しました。
- 教育委員会や学校給食関連事業者と連携し、県産鶏卵による殺菌凍結液卵の利活用を進めることにより、学校給食における県産鶏卵の利用率向上を図りました
- 県内産米粉の消費拡大と普及推進を図るため、製パン業者等を対象とした講習会・意見交換会を行いました。



【旬ちゃんの学校訪問の様子】

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・学校給食における県産農産物利用率：44.3%
- ・学校給食における県産鶏卵利用率：56.7%
- ・学校給食における米粉パン利用回数：延べ 2,334 回
- ・(再掲)「旬ちゃん」学校訪問による地産地消・食育の推進：延べ 6 校 (284 名)

○ 環境保全・エコ活動等の促進

- 信州環境フェア 2015 に出展し、環境にやさしい農業や有機農業の取組について PR を行いました。

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・環境にやさしい農産物認証制度の取組や、エコファーマー及び有機農業の取組を消費者に皆さんへ PR : ビックハット : 長野市 H27. 8. 22~23

＜今後の展開方向＞

《自然豊かな環境で生産される安全で良質な信州農畜産物の情報発信》

- 地産地消への取り組みを促進するため、シンポジウムの開催や PR イベントへの参加、ホームページの活用等により情報発信に努めます。

《生産者と消費者との顔が見える関係の推進》

- 農産物直売所が取り組むこだわりや特色ある取扱品目について、情報を把握し、生産者と消費者が共有できるよう情報を発信します。

《「食の“地産地消”の促進》

- 地域で消費するモノを地域で生産する“地産地産”の考え方が県民に浸透するよう、食材の生産・加工・流通の各分野での取組を促進します。
- 地域農産物の“地産地産”による販路拡大と個性ある地域づくりを進めるため、品目毎の振興協議会の相互連携を図る連絡会を設置し、ホテル・観光旅館等に信州産オリジナル食材の利活用を促進します。

《学校給食等における信州農畜産物の利用促進》

- 「おいしい信州ふーど(風土)」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーンと連携した学校訪問や市町村への働きかけにより、学校給食現場における地産地消を含めた食育を推進します。
- 県産鶏卵の利用促進のため、「液卵プロジェクト」を推進します。
- 米粉製粉事業者や米粉料理等の情報をホームページで発信します。

《農畜産物の生産を通じた環境保全・エコ活動等の促進》

- 首都圏において有機農業の取り組み及び有機農産物の消費者に向けた PR 等を実施します。

(2) [施策展開5] 地産地消と食に対する理解・活動の促進

イ 食育の推進による豊かな人間形成と健康長寿

【めざす平成29年の姿】

- ◇日々の食生活は、自然の恩恵の上に成り立ち、生産者を始めとして多くの人々の苦労や努力によって食は支えられていることが実感され、食に関する感謝の念と理解が深まっています。
- ◇家庭、学校、地域社会等の相互の密接な連携の下、子どもたちが楽しく食について学ぶことができる機会が様々な場面で提供されています。
- ◇多くの県民が様々な食に関する体験活動に参加し、これをきっかけに健全な食生活を実践しようとする意識が醸成されています。

<施策の取組状況>

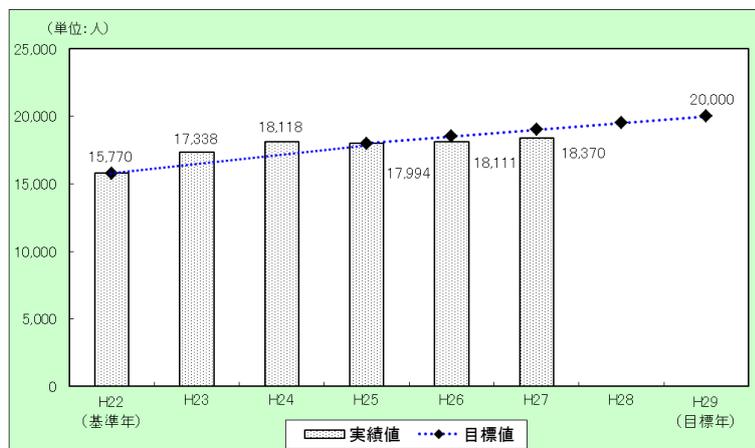
○ 学校、保育所等における食育の推進

- 栄養教諭の配置を拡充するとともに、栄養教諭、学校栄養職員等の資質向上のための研修会を実施しました。
- 食について楽しく学ぶ機会を提供するため、教育関係機関と連携して「旬ちゃん」の学校訪問を実施しました。
- 学校給食等での米粉消費拡大に向けた米粉利用講習会を開催しました。

[平成27年度の主な取組]

- ・栄養教諭の配置拡充：90人→120人（H27.4.1配置 公立小・中）
- ・（再掲）「旬ちゃん」による学校訪問による地産地消、食育の推進：延べ6校 284名
- ・米粉利用講習会の開催：1回 H28.3.14

■達成指標項目27：食育ボランティア数（内閣府調べ）



食育ボランティアの数は、基準年の平成22年度の15,770人と比べ増加しており、平成27年度は18,370人に増加しました。

○ 地域における食育の推進

- 県民運動としての食育の推進を進め、地域ごとに食育推進の課題等を共有・連携するため、「信州の食を育む県民会議」及び「地域連絡会議」を開催しました。
- 食育に取り組む関係機関・団体等が一堂に会し、食育活動の紹介や情報交換等を行い、県民の食育の実践が推進するよう「県民大会」「地域食育フォーラム」を開催しました。
- クックパッドに「長野県公式キッチン」を開設し、「おいしい信州ふーど(風土)」を始めとした信州の食材による健康に配慮した料理メニューのレシピを発信しました。
- 食育出前講座等を通じて、教育機関との連携による食育活動を推進しました。
- 家庭以外の食事でも健康に配慮した食事が選択できるよう、健康に配慮したメニュー・弁当を提供する飲食店や社員食堂等を増やすため、メニュー開発の支援や社員食堂のメニューコンテスト等を行いました。
- 食生活改善推進員の活動を強化するため、養成や育成のための研修会を開催しました。



【食育出前講座】

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・(再掲) 体験的食育推進事業の実施：3 団体
- ・食育推進県民大会の開催：1 回
- ・地域食育フォーラムの開催：10 回
- ・健康に配慮したメニュー・弁当等を提供する飲食店等：852 店
- ・食生活改善推進員ステップアップ研修会の開催：10 コース開催

○ 食文化の継承のための活動への支援

- 地域農業の振興、農村女性団体等の活動や連携の促進などを図るため、地域の実践的リーダーとして、「長野県農村生活マイスター」の認定事業を実施しました。
- 伝統文化・食文化の伝承等を目的とした、児童・生徒への農作業体験や伝統食の礼儀を学ぶ体験学習を実施しました。
- 特色ある地域食材の活用を促進するとともに、地産地消の普及啓発を図るため料理コンクールを開催しました。
- 新規就農者や農家以外の親子を対象とした地産地消や伝統食の伝承に係る講習会を開催しました。
- 地元農産物を活かした地産地消給食の日に、「旬ちゃん」の学校訪問を実施し、学校給食を通じて食文化への理解を深めました。

〔平成 27 年度の主な取組〕

- ・長野県農村生活マイスター認定研修会の実施：年 5 回 24 名を認定
- ・長野県農村生活マイスター協会による「農村女性チャレンジプラン推進モデル事業」の実施：
県下 14 地区
- ・県と農村女性ネットワークながのの共催による、信州の味コンクールの開催：応募総数 50 点
- ・農村女性ネットワークながのによる「信州の食と農のセミナー」の実施：県下 9 地区 延べ 33 回
- ・(再掲) 「旬ちゃん」による学校訪問による地産地消、食育の推進：延べ 6 校 284 名

＜今後の展開方向＞

《学校、保育所等における食育の推進》

- 「おいしい信州ふード（風土）」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーンと連携し、学校訪問による食育を推進します。
- 栄養教諭等や食育ボランティアとの連携を深め、保護者も含めた研修会等の開催により、食の重要性、大切さを学ぶ機会を設け、地域ぐるみでの食育を推進します。
- 製パン業者及び学校給食関係者を対象とした米穀の新用途利用講習会の実施により、学校給食等での米粉の消費拡大を図ります。

《地域における食育の推進》

- 「信州の食を育む県民会議」により、県民運動として食育を推進するとともに、地域における食育推進のための課題等の共有・連携を行う「地域連絡会議」を開催します。
- 健康づくり県民運動「信州ACE(エース)プロジェクト」と連携し、食育を推進します。
- 県民が「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」「朝食欠食の減少」等、健康に食べることを実践できるよう、市町村や関係機関・団体と連携し、食育ボランティアとともに地域での普及・啓発の活動を実施します。
- 外食や中食を通じて健康づくりを支援するため、食塩量や野菜量など健康に配慮し、地元産食材を使用したメニューを提供する「信州食育発信 3つの星レストラン」や「健康づくり応援弁当」の登録や利用を拡大します。

《食文化の継承のための活動への支援》

- 農業経営の改善や地域活動に意欲的な女性農業者を農村生活マイスターとして認定し、食農教育を充実します。
- 伝統野菜など特色ある地域食材を活用した創作ふるさと料理など、伝統的な食文化の再認識と新たな食の活用方法を提案する信州の味コンクールを開催します。
- 農村女性フェスティバル等のイベントで、農産加工品の対面販売を行い、地域の特色ある食文化を広く発信します。
- 農村女性のグループ活動を通し、女性の感性を活かした地産地消・食文化伝承を推進します。
- 学校給食への地域食材の供給と食農教育を推進します。
- 農村の暮らしに根ざした伝統行事や、食文化の伝承と健康的な食生活の実践に向けた活動を支援します。